



Upside Japan  
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



Upside Japan / コラム



## ルーブル美術館のカフェにて想う 中村伊知哉@LANTIC【第27回】

2001年2月19日

ニューヨークからパリ、ブエノスアイレスから東京。世界を巡りながら認めた最近の日記をまたコラージュする。

### ガングロ、ニューヨークに出没！

クルマでニューヨークまで3時間の日帰りドライブ。オモチャ屋さんに行く。そこで私はガングロを見た！本物のガングロを見たのだ。ああ、変。

以前なにかの雑誌の川柳で、ガングロのために生まれたような顔、というのがあったが、そういう顔。アメリカ人はニッポンのガングロを見てどう思うんだろう、かっこいいと思う人はいるだろうか。

彼女はさすがにケータイを持っていないが、丸腰のガングロは許されるのだろうか。荒野のガングロ。

ところで高校や大学では、荒れていた授業が静かになってきたという。私語が減ったという。ケータイ親指メールがおしゃべりに取って変わったらしい。教室に集まりながら、それぞれがケータイで外に出かけてしまっているわけだ。教室は屍の置き場と化した。完璧な崩壊である。

### 狂牛病に揺れる文化輸出国フランス

ルーブル美術館のカフェにてOECD前川氏とワイン。欧州は狂牛病で混乱している。販売されている肉がいつどこで取れたモノか、その流通経路や生まれ育ちを鑑識するだけでなく、いつどんなエサを食べたか、その連鎖もトレースする必要が出てきているという。

すると、エサとなる穀物をみなコード化してデータベース化してネット化する必要がある。そいつはすごい。難業だが可能ではある。可能ではあるが難業だ。**アメリカの反対必至**だ。エサも肉も私も、みなIDを持ち、ネット上にポジションを得て、**リンクされる**。

ボクの食べた豚の食べたトウモロコシの肥やしとなった糞をした牛を食べたボク。

ルーブル美術館：自国文化の対外輸出にかけては世界随一のフランスらしく、ルーブル美術館の公式サイトには日本語版も用意されている。興味のある方は<http://www.louvre.or.jp/>へ。

アメリカの反対必至：米国食品医薬品局(FDA)や世界最大の穀物商社カーギルが、官民一致で世界の食料を牛耳ろうとするのがアメリカ流のやり方。ポスト冷戦の現代、食料政策は国家安全保障上における最重要問題の一つにまでなっている。

このリンクが解明されると、本当の意味での無農薬野菜など存在しないということが明らかになるはず。この御時世、人糞でも魚粉でもどんな肥料を用いたとしても、食物連鎖と生物濃縮の影響により、農薬など不純物の含有は避けられないからだ。

### PCは一人に数台の時代へ

Xerox PARCのマーク・ワイザー氏によるコンピュータの世代分類は重要だ。

第一世代はn人が1台を使うメインフレーム時代。

第二世代は1人:1台のパソコン時代。

第三世代は1人n台のコピキタス時代。

そう、本質的な違いは、スピードや容量ではなく、利用モデルにある。

#### 注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入!
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!

- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:

検索



ワイザー氏によると、ユビキタスは2005年から2020年にかけて広がるという。第一世代が'50年代、第二世代が'80年代からとすれば、この激動の分野であっても、時代を画する変化は30年周期ということなのかな。

その課題は“静穏さ”であるという。なるほど、メディアが環境や肉体に同化していくためには、主張を殺し、姿を消していかなければならない。花形のコンピューターにはつらい渡世であろう。

Xerox PARC:米ゼロックス社が'70年に開設した研究所。研究員が自分の好きな研究を自由にできるという環境が特徴で、ゼロックスはPARCからフィードバックされる研究結果を利用することで、投資額の何倍にもなる収益を上げているという。イーサネットがPARCで発明されたほか、マッキントッシュの原型といわれるGUIコンピューターのALTOもここで作られた。

マーク・ワイザー: '94年までの7年をPARCの研究員として過ごした後、'96年にチーフ・テクノロジストに就任。現在は、ユビキタスコンピューティングを主な研究テーマとしている。ワイザー氏の公式サイトは<http://sandbox.xerox.com/weiser/>。

## 南米では未だ数台に一人なのか

ブエノスアイレスからの帰路、ボストンは大雪で戻る便が当分ないという。ここは真夏だというのに。アイスクリーム売りが屋台を引いている。この町にもケータイ屋が目につく。PCが並ぶ部屋もあちこちにある。

「Internet」の看板を掲げたサンドイッチねえさんが、「30分1ドル、寄っていきなせえ」と、**キクチサヨコ**のような口をきく。地球の裏側でもデジタルは勢いづいている。

初めての土地でまずすべきことは、市場めぐりと地酒と地テレ。肉塊や地場の野菜が暗がりや捨てるように置いてある。上質なアルゼンチンワインも無造作に転がっている。くだらないテレビ、時間を捨てているかのような番組、これも南欧の生き写しだ。いいねえこのやる気のなさ。ここでもドラゴンボールZとポケモンがハバきかせてるのが非情だけれど。

キクチサヨコ:レースクイーンとして活躍中の菊地左容子クン、のことではないと思うのだが、誰のことですか?> 中村さん

## 東京にて50年後を想う

日経新聞のイベント。伊藤達也通産政務次官らとパネル。ITと行政・政治との関わりについて。別セッションのパネラーである北野宏明さんと楽屋にて話。ロボカップの目標が2050年のFIFAワールドカップで優勝することだとか。見事な目標設定。MITや**関西での子供プロジェクト**と一緒に何か始めようということになった。

天才・北野博士が言うには、技術ができてから成熟するまでには50年。ライト兄弟からアポロ月面着陸まで、ENIACからディープブルーまで。だからロボットサッカーが人間に勝つ目標が2050年なんだと。

そういやMITメディアラボのマイケル・ホーリー教授が言うには、ファービー人形に入っているチップは月に行ったアポロが積んでいた**巨大コンピューター**より高性能。

関西での子供プロジェクト:京都けいはんなにオープンする最先端の子どもミュージアム CAMP(キャンプ)のこと。詳しくは[こちらの記事](#)を参照されたい。

一説によると、アポロに搭載されていたコンピューターの処理能力は、今で言えばIntel 286プロセッサ一程度だったという。それでも複雑な弾道計算をこなすことができたのだから驚きだ。

## 砂が水を吸うように金を吸う街、ラスベガス

IT系にとってラスベガスは展示会だが、観光客にとっては**カジノ**。私にとってはボクシングの本場。シーザースパレスやミラージュでハグラールやレナードが魅せた肉体の極限を超える人はまだ現われない。

それにしてもここは砂漠にふさわしいたかたである。生産や創造とは無縁の、ひたすらな消費。アメリカじゅうの田舎からカネと時間を浪費しに来て、砂の底に流して、土産も持たずに帰っていく。アメリカ好景気の象徴だ。

カジノ:ラスベガスの年間観光客数は約3000万人。一方、カジノで費やす金額は一人平均で400ドル以上。つまり砂漠の黄金郷は、年間でざっと1兆5000億円を売り上げているのだ!

## マイアミで感じた米国の不透明さ

タイムワナーとAOLの合併がやっと本決まりだそうだ。発表から1年もかかった。日本ではあり得ないことだ。司法省やFTCやFCCがガタガタ言って長引いたらしい。誰がどういう権限でガタガタ言えるんだらう。不透明だ。

MCIとスプリントの合併は司法省がダメだといって話がつぶれた。なぜダメなんだらう。なぜ司法省なんだらう。ベル・アトランティックとナインクスはなぜよかったんだらう。なぜNTTの子会社はアメリカで商売を止められ、日本ではAT&T**本体が商売できる**んだらう。わからん。

FCCはテレビ局からデジタルテレビの上納金を取ると言っている。なぜそんなことが言えるんだらう。日本の当局はデジタルテレビへの移行のため国家予算を確保すべくあちこちアタマ下げて回っているが、テレビ局に上納金よこせてなぜ言えないんだらう。

そしてなぜいつまでも日本は規制が強く不透明だと文句いわれてるんだらう。

米国は通信・放送の分野で外資規制を行っており、海外企業は単独では進出できない。一方の日本では、平成10年に規制を撤廃している。自動車も同様で、日本に完成車を輸出する際の関税率はゼロだが、米国にはそもそも右ハンドル車を輸出することさえままならない。

米国の運転免許は日本の運転免許に書き換えられるが、その反対はダメ。在日米国人は米国で納税申告できるが、その反対はダメ。米国人が自分の乗っていたクルマを日本に持ち込むのは簡単だが、その反対はほとんど不可能。日米間の不均衡・不公平は決して少なくない。

## 中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授  
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。  
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ: <http://www.media.mit.edu/~ichiya/jpn.htm>

(C)Hajime Anzai

▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】 \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [憧れのプエノスアイレス\(1月29日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [ある一ヶ月間のドタバタ日記\(12月28日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [かぞえ直しが続くあいだに\(11月28日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [オレの声が聞こえたか高橋\(10月25日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [カッコワリーってモンダガ\(10月4日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

▶ [Re率となんじゃこりゃ度\(9月25日\) \(http://www.upsidejapan.com/upside/column...\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...)

(中村伊知哉)

！[個人情報の取扱いについて](#)！[編集部へのコンタクト\(info@upsidejapan.com\)](mailto:info@upsidejapan.com)！[広告掲載のご案内](#)！

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.  
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.  
All rights reserved.